

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的とする。

## 2 調査の周期・期日

周期 昭和23年度から毎年実施（昭和23年度から昭和34年度までは、統計の名称を「学校衛生統計」として実施）。

期日 学校保健安全法による健康診断の結果に基づき、平成30年4月1日から6月30日までの間に実施。

## 3 調査の対象

満5歳から17歳までの幼児、児童及び生徒（以下「児童等」という。）の一部（抽出調査）。

なお、調査実施学校（園）数、調査対象者数及び抽出率は、次のとおりである。

区 分	学校（園）総数	児童等総数	調査実施学校（園）数	発育状態調査		健康状態調査	
				調査対象者（人）	抽出率（%）	調査対象者（人）	抽出率（%）
幼稚園	297	5,399	34	926	17.2%	1,046	19.4%
小学校	287	58,394	58	5,481	9.4%	19,917	34.1%
中学校	162	32,137	39	4,661	14.5%	13,687	42.6%
高等学校	77	34,902	27	2,381	6.8%	16,761	48.0%
計	823	130,832	158	13,449	10.3%	51,411	39.3%

注1:発育状態調査は、調査実施校に在籍する児童等のうちから年齢別男女別に抽出された者を対象とし、健康状態調査は、調査実施校の在学者全員を対象としている。

注2:学校（園）総数及び児童等総数は平成30年度学校基本調査（青森県分）による。

注3:幼稚園には幼保連携型認定こども園を含む。

注4:幼稚園の児童等総数は「5歳児」のみの人数である。

## 4 調査事項

(1) 児童等の発育状態（身長及び体重）

(2) 児童等の健康状態（栄養状態、脊柱・胸郭・四肢の状態、裸眼視力、眼の疾病・異常、難聴、耳鼻咽喉頭疾患、皮膚疾患、結核に関する検診、結核、心電図異常、心臓、蛋白検出、尿糖検出、その他の疾病・異常、歯・口腔、永久歯のう歯等数）

### 《利用上の注意》

- (1) この速報は、文部科学省がまとめた「平成30年度学校保健統計調査速報」の一部（青森県分）を要約したものであり、後日、「平成30年度学校保健統計調査報告書」として文部科学省が公表する数値が確定値となる。
- (2) 年齢は、平成30年4月1日現在の満年齢である。
- (3) 統計表の中の記号  
「－」 計数がない場合  
「…」 調査対象とならなかった場合  
「0.00」 計数が単位未満の場合
- (4) 合計の数値は、四捨五入を行っているため各項目の合計と一致しない場合がある。

## II 調査結果の概要

### 1 発育状態

#### (1) 身長

男子、女子ともに全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では10歳の1.6cm、女子では10歳の1.9cmとなっている。

- ① 男子は9歳、10歳、17歳、女子は6歳、10歳、11歳で全国第1位となっている。
- ② 最大の年間発育量は、男子は11歳から12歳時の7.3cm、女子は9歳から10歳時の7.4cmとなっている。

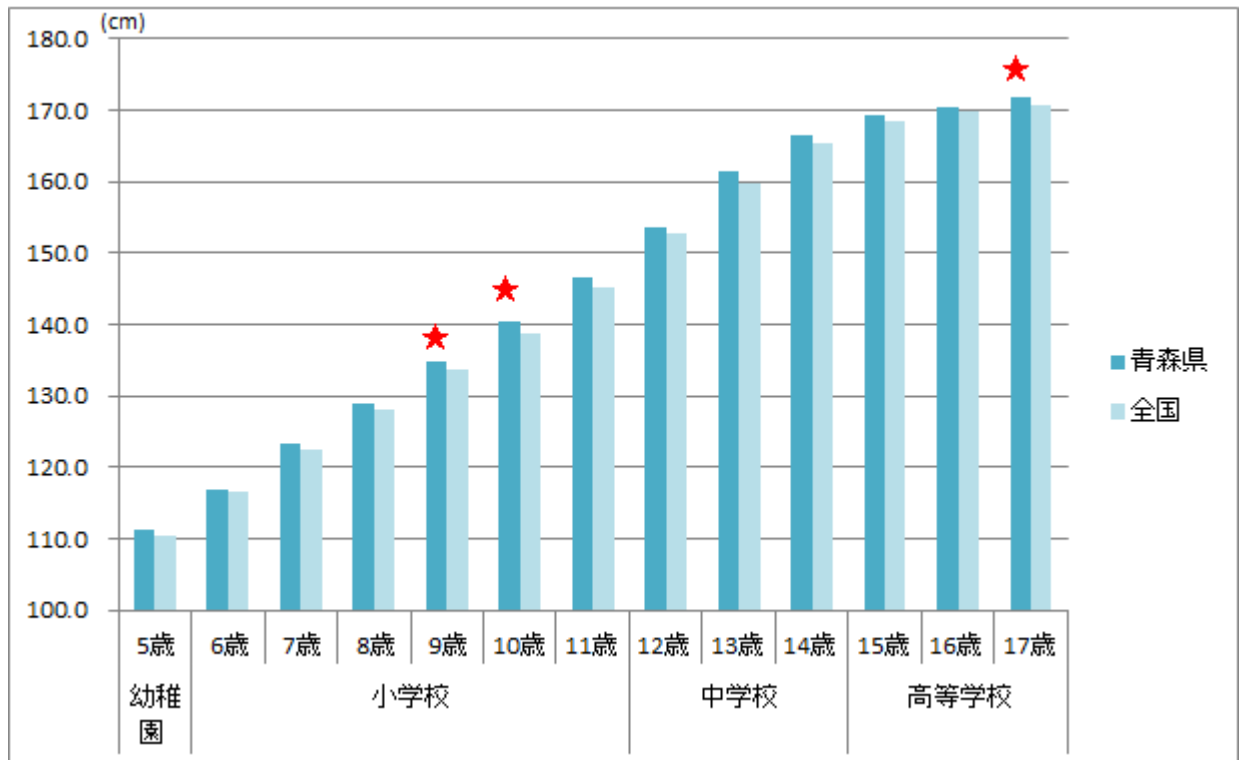
表1 身長の平均値

区分	年齢	身長 (cm)									
		青森県での調査人数	平成30年度 (青森県) A	平成29年度 (青森県) B	昨年度との 差 A-B	年間 発育量	平成30年度 (全国) C	全国との 差 A-C	30年度 青森県 順位	29年度 青森県 順位	
男	幼稚園	5歳	482	<b>111.3</b>	111.2	0.1	—	<b>110.3</b>	1.0	<b>2</b>	4
		6歳	458	<b>116.9</b>	117.0	-0.1	5.7	<b>116.5</b>	0.4	<b>4</b>	6
	小学校	7歳	461	<b>123.3</b>	123.7	-0.4	6.3	<b>122.5</b>	0.8	<b>2</b>	2
		8歳	458	<b>128.9</b>	128.5	0.4	5.2	<b>128.1</b>	0.8	<b>4</b>	7
		9歳	455	<b>134.7</b>	133.9	0.8	6.2	<b>133.7</b>	1.0	<b>1</b>	8
		10歳	457	<b>140.4</b>	140.6	-0.2	6.5	<b>138.8</b>	1.6	<b>1</b>	1
		11歳	461	<b>146.6</b>	146.3	0.3	6.0	<b>145.2</b>	1.4	<b>3</b>	2
	中学校	12歳	779	<b>153.6</b>	154.2	-0.6	7.3	<b>152.7</b>	0.9	<b>4</b>	2
		13歳	778	<b>161.3</b>	161.6	-0.3	7.1	<b>159.8</b>	1.5	<b>2</b>	2
		14歳	773	<b>166.5</b>	166.6	-0.1	4.9	<b>165.3</b>	1.2	<b>2</b>	1
	高等学校	15歳	390	<b>169.3</b>	168.8	0.5	2.7	<b>168.4</b>	0.9	<b>2</b>	7
		16歳	390	<b>170.4</b>	170.0	0.4	1.6	<b>169.9</b>	0.5	<b>3</b>	18
		17歳	390	<b>171.7</b>	171.0	0.7	1.7	<b>170.6</b>	1.1	<b>1</b>	7
女	幼稚園	5歳	444	<b>110.4</b>	110.6	-0.2	—	<b>109.4</b>	1.0	<b>2</b>	1
		6歳	449	<b>116.8</b>	116.6	0.2	6.2	<b>115.6</b>	1.2	<b>1</b>	2
	小学校	7歳	454	<b>122.7</b>	122.4	0.3	6.1	<b>121.5</b>	1.2	<b>2</b>	3
		8歳	453	<b>128.7</b>	129.0	-0.3	6.3	<b>127.3</b>	1.4	<b>2</b>	2
		9歳	458	<b>134.8</b>	134.6	0.2	5.8	<b>133.4</b>	1.4	<b>2</b>	2
		10歳	461	<b>142.0</b>	141.4	0.6	7.4	<b>140.1</b>	1.9	<b>1</b>	2
		11歳	456	<b>148.1</b>	148.6	-0.5	6.7	<b>146.8</b>	1.3	<b>1</b>	1
	中学校	12歳	776	<b>152.7</b>	152.9	-0.2	4.1	<b>151.9</b>	0.8	<b>3</b>	3
		13歳	777	<b>155.7</b>	155.5	0.2	2.8	<b>154.9</b>	0.8	<b>3</b>	3
		14歳	778	<b>156.7</b>	157.1	-0.4	1.2	<b>156.6</b>	0.1	<b>11</b>	2
	高等学校	15歳	405	<b>157.5</b>	157.2	0.3	0.4	<b>157.1</b>	0.4	<b>9</b>	14
		16歳	404	<b>158.1</b>	157.2	0.9	0.9	<b>157.6</b>	0.5	<b>4</b>	34
		17歳	402	<b>158.3</b>	157.5	0.8	1.1	<b>157.8</b>	0.5	<b>5</b>	25

(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の6.0cmは、146.6cm (30年度の11歳の数値) - 140.6cm (29年度の10歳の数値) で求められる。

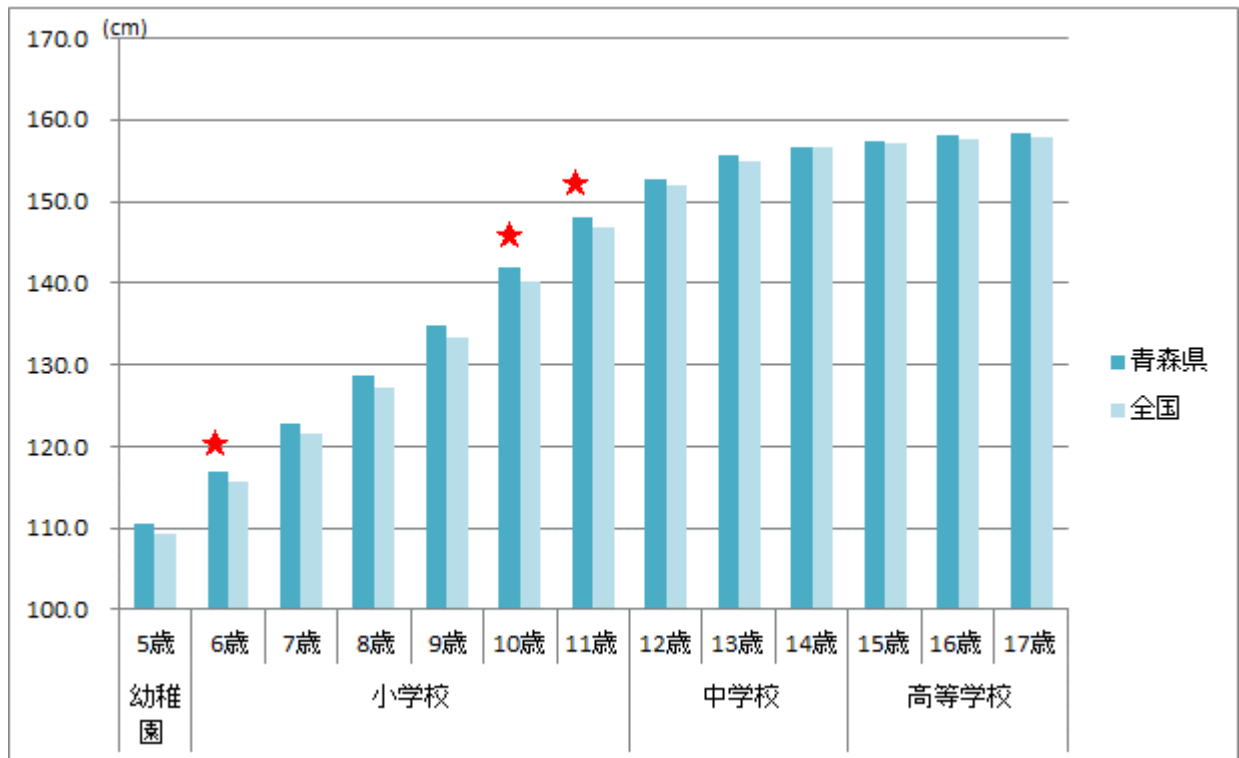
グラフ1 身長の平均値

〈男〉



★：全国1位

〈女〉



★：全国1位

## (2) 体 重

男子、女子とも全年齢で全国平均を上回っており、その差が最も大きいのは、男子では14歳の2.8kg、女子では10歳及び13歳の2.2kgとなっている。

- ① 男子は7歳、9歳、15歳、女子は6歳、10歳から14歳で全国第1位となっている。  
 ② 最大の年間発育量は、男子は11歳から12歳時の5.8kg、女子は10歳から11歳時の5.5kgとなっている。

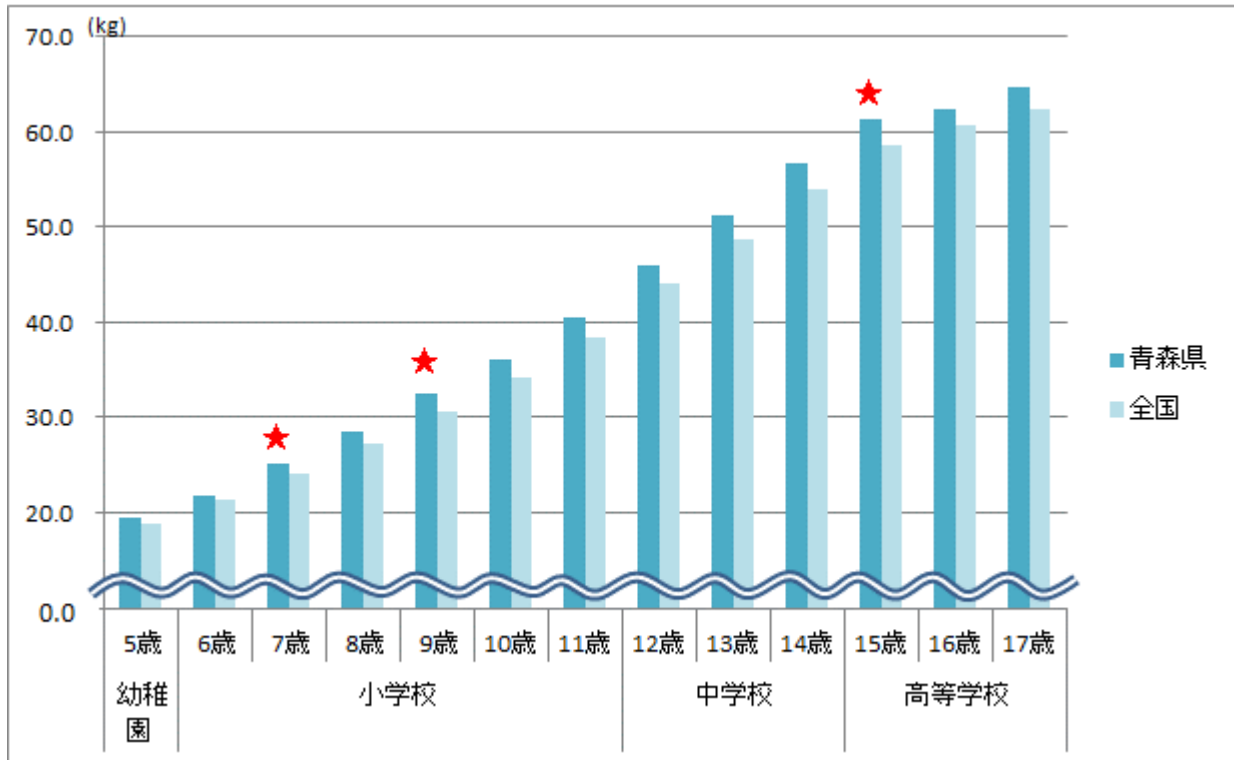
表2 体重の平均値

区 分	年齢	体 重 (kg)									
		青森県 での調 査人数	平成30年度 (青森県) A	平成29年度 (青森県) B	昨年度との 差 A-B	年 間 発育量	平成30年度 (全 国) C	全国との 差 A-C	30年度 青森県 順 位	29年度 青森県 順 位	
男	幼稚園	5歳	482	19.5	19.6	-0.1	—	18.9	0.6	2	1
	小学校	6歳	458	21.8	22.1	-0.3	2.2	21.4	0.4	4	2
		7歳	461	25.2	25.3	-0.1	3.1	24.1	1.1	1	1
		8歳	458	28.5	28.0	0.5	3.2	27.2	1.3	3	4
		9歳	455	32.6	31.5	1.1	4.6	30.7	1.9	1	5
		10歳	457	36.1	36.0	0.1	4.6	34.1	2.0	2	1
		11歳	461	40.5	40.2	0.3	4.5	38.4	2.1	3	3
	中学校	12歳	779	46.0	47.0	-1.0	5.8	44.0	2.0	4	2
		13歳	778	51.3	51.6	-0.3	4.3	48.8	2.5	3	2
		14歳	773	56.8	56.1	0.7	5.2	54.0	2.8	2	1
	高等学校	15歳	390	61.3	61.5	-0.2	5.2	58.6	2.7	1	1
		16歳	390	62.4	62.9	-0.5	0.9	60.6	1.8	3	1
		17歳	390	64.8	64.4	0.4	1.9	62.4	2.4	2	3
女	幼稚園	5歳	444	19.2	19.3	-0.1	—	18.5	0.7	3	1
	小学校	6歳	449	21.9	21.7	0.2	2.6	20.9	1.0	1	3
		7歳	454	24.5	24.4	0.1	2.8	23.5	1.0	3	3
		8歳	453	27.6	27.9	-0.3	3.2	26.4	1.2	2	1
		9歳	458	31.5	31.4	0.1	3.6	30.0	1.5	2	1
		10歳	461	36.3	35.5	0.8	4.9	34.1	2.2	1	2
		11歳	456	41.0	40.7	0.3	5.5	39.1	1.9	1	1
	中学校	12歳	776	45.4	45.6	-0.2	4.7	43.7	1.7	1	1
		13歳	777	49.4	49.1	0.3	3.8	47.2	2.2	1	1
		14歳	778	51.8	51.7	0.1	2.7	49.9	1.9	1	1
	高等学校	15歳	405	52.3	53.1	-0.8	0.6	51.6	0.7	7	2
		16歳	404	54.5	53.0	1.5	1.4	52.5	2.0	2	20
		17歳	402	53.5	54.2	-0.7	0.5	52.9	0.6	11	3

(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、男子11歳の4.5kgは、40.5kg(30年度の11歳の数値) - 36.0kg(29年度の10歳の数値) で求められる。

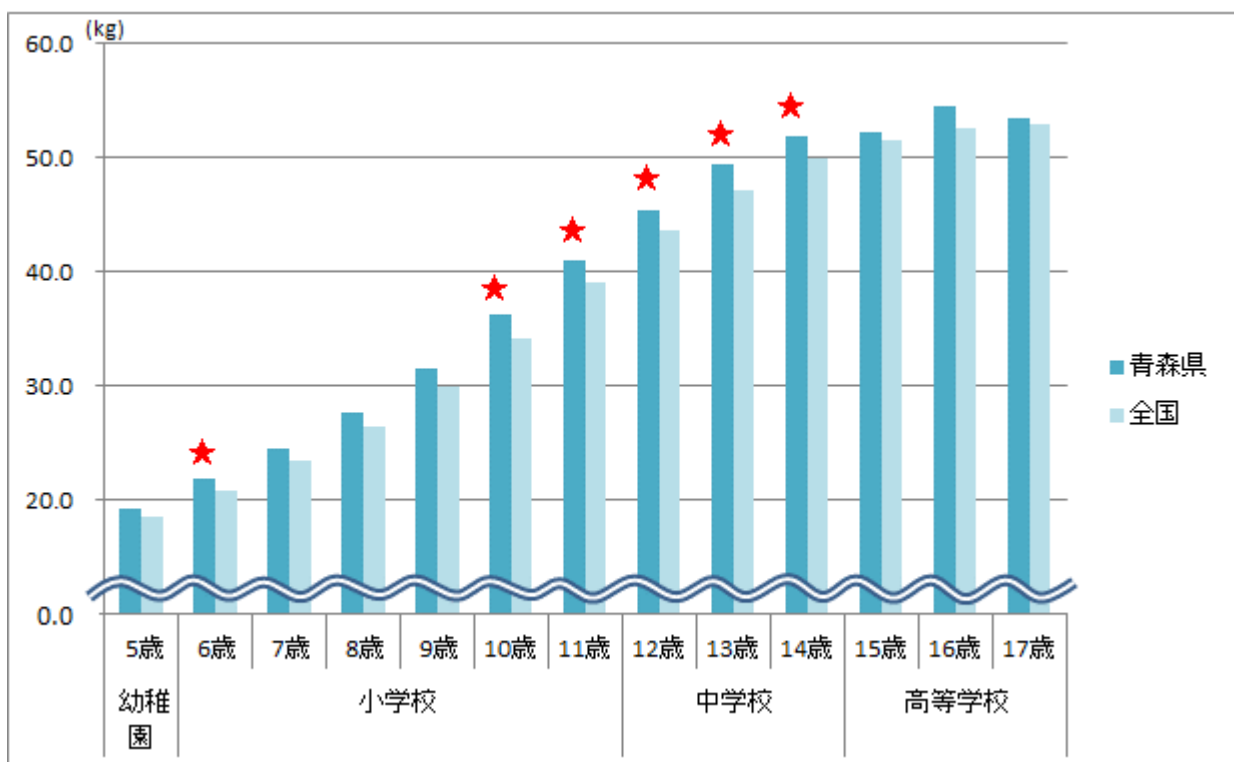
グラフ2 体重の平均値

〈男〉



★：全国1位

〈女〉



★：全国1位

### (3) 30年前(親の世代)との比較

親の世代である30年前の昭和63年度と比較すると、身長・体重のいずれも、大半の年齢で親世代を上回っている。

#### ① 身長

男子では、6歳、7歳及び8歳を除いた各年齢で親の世代より高く、世代間の差は12歳から14歳が最も大きく、1.5cm上回っている。

女子では、5歳、14歳、16歳及び17歳を除いた各年齢で親の世代より高く、世代間の差は10歳が最も大きく、1.1cm上回っている。

#### ② 体重

男子では、5歳及び6歳を除く各年齢で親の世代より重く、世代間の差は12歳が最も大きく、1.7kg上回っている。

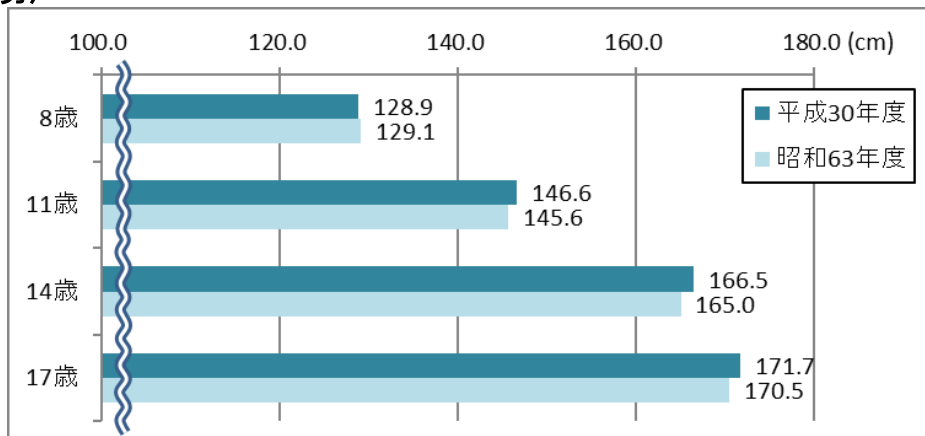
女子では、5歳、15歳及び17歳を除く各年齢で親の世代より重く、世代間の差は9歳と15歳が最も大きく、9歳では1.0kg上回り、15歳では1.0kg下回っている。

表3 30年前の身長・体重の平均値との比較

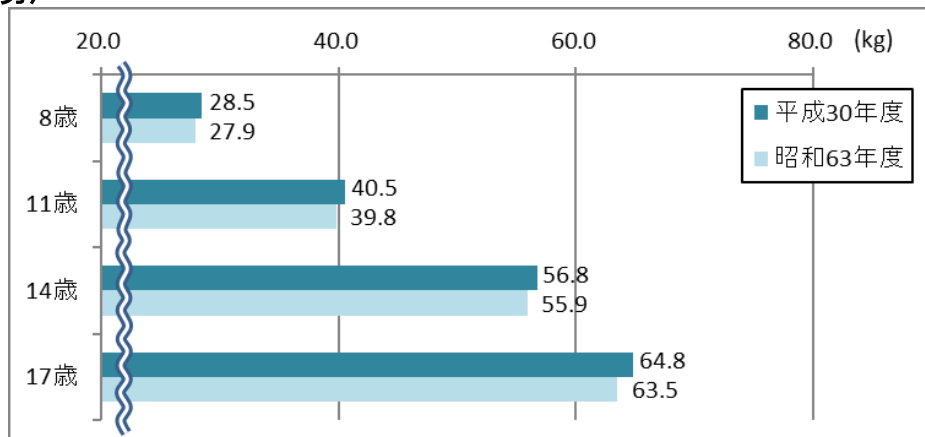
区分	年齢	身長 (cm)			体重 (kg)			
		平成30年度	昭和63年度	差	平成30年度	昭和63年度	差	
		A	B	A-B	C	D	C-D	
男	幼稚園	5歳	111.3	111.2	0.1	19.5	19.7	-0.2
		6歳	116.9	117.2	-0.3	21.8	21.9	-0.1
	小学校	7歳	123.3	123.3	0.0	25.2	25.0	0.2
		8歳	128.9	129.1	-0.2	28.5	27.9	0.6
		9歳	134.7	134.1	0.6	32.6	31.5	1.1
		10歳	140.4	139.1	1.3	36.1	35.2	0.9
		11歳	146.6	145.6	1.0	40.5	39.8	0.7
	中学校	12歳	153.6	152.1	1.5	46.0	44.3	1.7
		13歳	161.3	159.8	1.5	51.3	50.7	0.6
		14歳	166.5	165.0	1.5	56.8	55.9	0.9
	高等学校	15歳	169.3	168.7	0.6	61.3	60.5	0.8
		16歳	170.4	169.5	0.9	62.4	61.9	0.5
		17歳	171.7	170.5	1.2	64.8	63.5	1.3
女	幼稚園	5歳	110.4	110.8	-0.4	19.2	19.5	-0.3
		6歳	116.8	116.6	0.2	21.9	21.6	0.3
	小学校	7歳	122.7	122.3	0.4	24.5	24.0	0.5
		8歳	128.7	128.1	0.6	27.6	27.4	0.2
		9歳	134.8	134.0	0.8	31.5	30.5	1.0
		10歳	142.0	140.9	1.1	36.3	35.5	0.8
		11歳	148.1	147.4	0.7	41.0	40.7	0.3
	中学校	12歳	152.7	151.9	0.8	45.4	45.1	0.3
		13歳	155.7	155.2	0.5	49.4	49.0	0.4
		14歳	156.7	156.8	-0.1	51.8	51.6	0.2
	高等学校	15歳	157.5	157.3	0.2	52.3	53.3	-1.0
		16歳	158.1	158.2	-0.1	54.5	54.3	0.2
		17歳	158.3	158.3	0.0	53.5	53.8	-0.3

グラフ3 30年前（親の世代）の身長・体重の平均値との比較

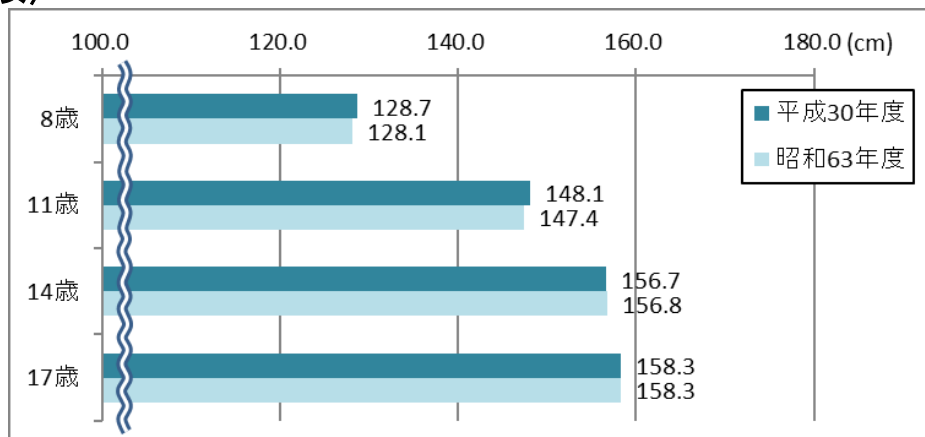
〈身長・男〉



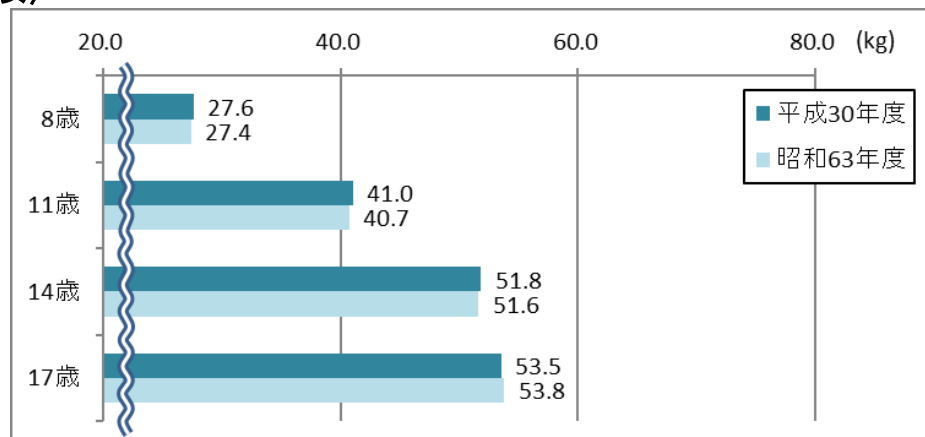
〈体重・男〉



〈身長・女〉



〈体重・女〉



#### (4) 17歳の年間発育量と世代間比較

17歳（平成12年度生まれ）について、5歳時（平成18年度）から12年間の発育量をみると、男子は身長が60.2cm、体重が45.1kg、女子は身長が48.1cm、体重が34.1kgとなっている。

##### ① 年間発育量が最も大きい時期

男子は、身長は12歳から13歳の間（7.6cm）、体重は11歳から12歳の間及び12歳から13歳の間（5.5kg）が年間発育量の最大値となっている。女子は、身長は9歳から10歳の間（7.9cm）、体重は9歳から10歳の間（5.1kg）が年間発育量の最大値となっている。

##### ② 親の世代（昭和45年度生まれ）との比較

年間発育量が最も大きい時期について、親の世代である30年前の昭和45年度生まれと比較すると、

男子の体重、女子の体重については、平成12年度生まれの方が早期に最大値を迎えている。男子の身長については12歳から13歳の間、女子の身長については9歳から10歳の間、共通して最大値を迎えている。

**表4 17歳の12年間の発育量(親の世代との比較)**

－ 平成12年度生まれ(平成30年4月時点17歳)と昭和45年度生まれ(昭和63年4月時点17歳)の比較 －

区分	当時	身長 (cm)				体重 (kg)				
		平成12年度生まれ	年間発育量	昭和45年度生まれ	年間発育量	平成12年度生まれ	年間発育量	昭和45年度生まれ	年間発育量	
男	幼稚園	5歳	111.5	5.9	110.8	5.4	19.7	2.7	19.2	2.1
		6歳	117.4	6.4	116.2	5.6	22.4	3.2	21.3	1.9
	小学校	7歳	123.8	5.4	121.8	5.1	25.6	3.3	23.2	3.1
		8歳	129.2	5.1	126.9	5.5	28.9	3.1	26.3	3.2
		9歳	134.3	5.8	132.4	6.3	32.0	4.1	29.5	3.6
		10歳	140.1	6.7	138.7	4.8	36.1	4.4	33.1	3.9
		11歳	146.8	6.8	143.5	7.4	40.5	<b>*5.5</b>	37.0	5.7
	中学校	12歳	153.6	<b>*7.6</b>	150.9	<b>*7.7</b>	46.0	<b>*5.5</b>	42.7	<b>*6.5</b>
		13歳	161.2	5.2	158.6	6.3	51.5	5.0	49.2	6.1
		14歳	166.4	2.5	164.9	3.3	56.5	3.6	55.3	4.6
	高等学校	15歳	168.9	1.1	168.2	1.1	60.1	2.8	59.9	1.5
		16歳	170.0	1.7	169.3	1.2	62.9	1.9	61.4	2.1
		17歳	171.7		170.5		64.8		63.5	
	12年間の発育量		60.2		59.7		45.1		44.3	
女	幼稚園	5歳	110.2	6.4	110.3	4.2	19.4	2.6	18.8	1.4
		6歳	116.6	5.9	114.5	6.4	22.0	2.6	20.2	2.4
	小学校	7歳	122.5	6.2	120.9	5.6	24.6	3.6	22.6	3.0
		8歳	128.7	5.4	126.5	5.7	28.2	2.6	25.6	3.3
		9歳	134.1	<b>*7.9</b>	132.2	<b>*7.4</b>	30.8	<b>*5.1</b>	28.9	5.0
		10歳	142.0	5.9	139.6	6.3	35.9	5.0	33.9	4.3
		11歳	147.9	4.8	145.9	5.8	40.9	4.6	38.2	<b>*5.9</b>
	中学校	12歳	152.7	2.5	151.7	3.8	45.5	3.8	44.1	5.1
		13歳	155.2	1.4	155.5	1.2	49.3	2.2	49.2	2.2
		14歳	156.6	1.1	156.7	0.4	51.5	1.6	51.4	2.1
	高等学校	15歳	157.7	-0.5	157.1	0.8	53.1	-0.1	53.5	0.2
		16歳	157.2	1.1	157.9	0.4	53.0	0.5	53.7	0.1
		17歳	158.3		158.3		53.5		53.8	
	12年間の発育量		48.1		48.0		34.1		35.0	

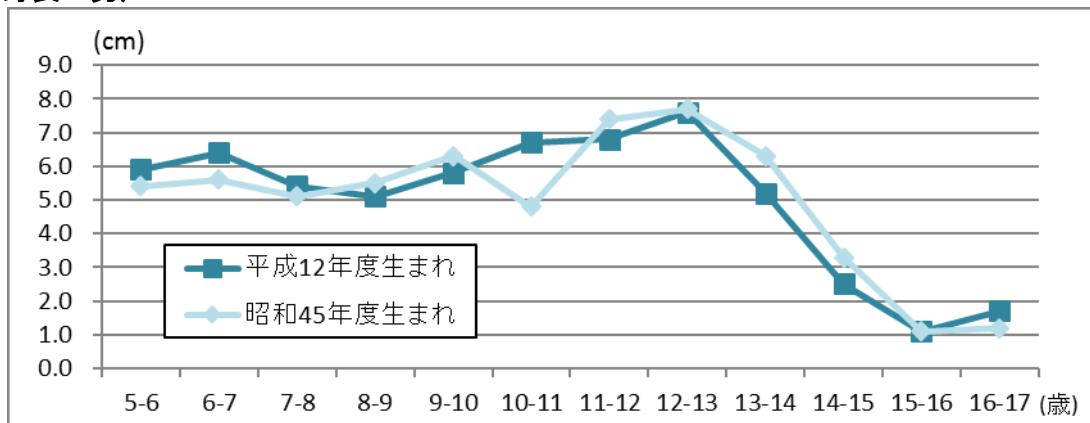
(注) : 1. 年間発育量とは、前年度からの発育増加量を指す。例えば、平成12年度生まれの5歳時の年間発育量は、平成19年度の6歳の数値から平成18年度の5歳の数値を引いたものである。

2. \*は最大年間発育量を示す。

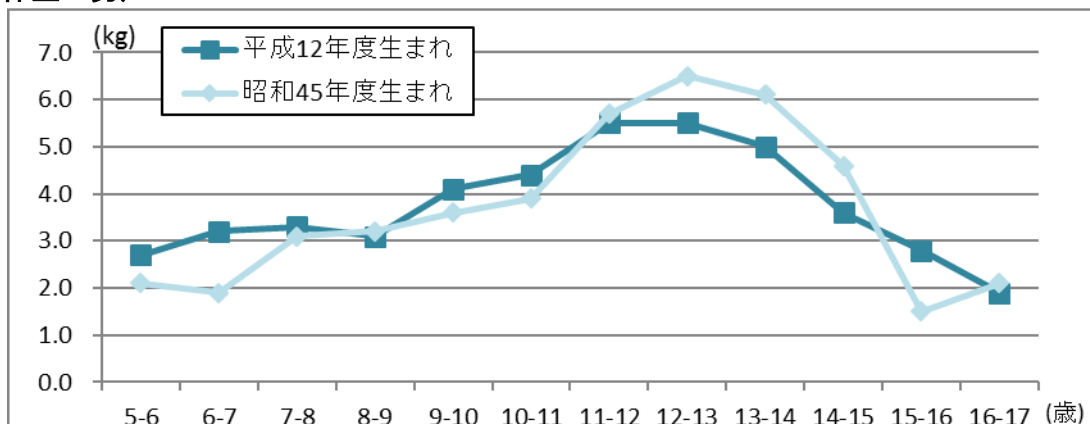


グラフ4 17歳の年間発育量と世代間比較

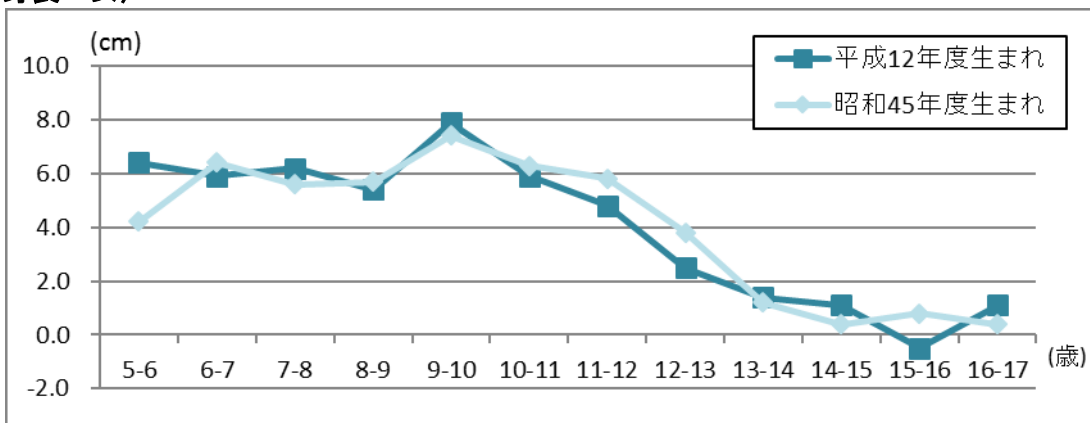
〈身長・男〉



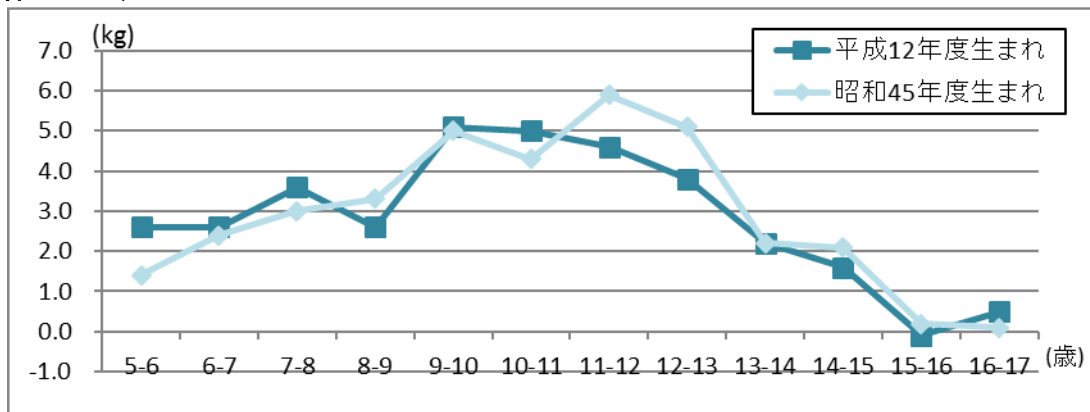
〈体重・男〉



〈身長・女〉



〈体重・女〉



## (5) 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

肥満傾向児及び痩身傾向児の本県と全国における出現率は次のとおりで、肥満傾向児の出現率が、男子は全年齢で全国平均を上回り、女子は15歳を除いた年齢で全国平均を上回っている。

### ① 肥満傾向児

男子では、15歳の出現率が19.80%で最も高く、全国値との差でも15歳が最も大きく、8.79ポイント上回っている。

女子では、11歳の出現率が12.41%で最も高く、全国値との差では16歳が最も大きく、5.13ポイント上回っている。

男子は8歳、15歳及び17歳、女子は6歳及び14歳で全国第1位となっている。

### ② 痩身傾向児

男子では、11歳の出現率が3.09%で最も高く、全国値との差では17歳が最も大きく、1.52ポイント下回っている。

女子では、9歳の出現率が3.07%で最も高く、全国値との差では12歳が最も大きく、1.60ポイント下回っている。

女子は9歳で全国第1位となっている。

表5 肥満傾向児・痩身傾向児の出現率

単位 (%)

区分	年齢	肥満傾向児						痩身傾向児								
		平成30年度 (青森県) A	平成29年度 (青森県) B	昨年度との 差 A-B	平成30年度 (全国) C	全国との 差 A-C	30年度 青森県 順位	29年度 青森県 順位	平成30年度 (青森県) D	平成29年度 (青森県) E	昨年度との 差 D-E	平成30年度 (全国) F	全国との 差 D-F	30年度 青森県 順位	29年度 青森県 順位	
男	幼稚園	5歳	3.22	4.61	-1.39	2.58	0.64	10	5	0.11	0.18	-0.07	0.27	-0.16	36	27
		6歳	6.72	7.91	-1.19	4.51	2.21	10	1	0.30	0.20	0.10	0.31	-0.01	23	30
	小学校	7歳	9.47	9.55	-0.08	6.23	3.24	2	2	0.90	0.62	0.28	0.39	0.51	7	13
		8歳	14.16	10.68	3.48	7.76	6.40	1	7	1.38	0.29	1.09	0.95	0.43	11	44
		9歳	13.74	13.51	0.23	9.53	4.21	6	4	0.69	1.18	-0.49	1.71	-1.02	45	25
		10歳	13.14	13.01	0.13	10.11	3.03	9	7	2.26	2.04	0.22	2.87	-0.61	28	34
		11歳	13.52	12.58	0.94	10.01	3.51	9	8	3.09	2.79	0.30	3.16	-0.07	23	25
	中学校	12歳	14.88	15.58	-0.70	10.60	4.28	5	2	2.06	1.53	0.53	2.79	-0.73	34	44
		13歳	13.06	11.33	1.73	8.73	4.33	3	8	1.39	1.34	0.05	2.21	-0.82	38	40
		14歳	10.86	11.23	-0.37	8.36	2.50	8	4	1.02	2.49	-1.47	2.18	-1.16	44	11
	高等学校	15歳	19.80	16.45	3.35	11.01	8.79	1	5	2.02	1.62	0.40	3.24	-1.22	40	43
		16歳	13.28	15.87	-2.59	10.58	2.70	10	1	2.83	3.32	-0.49	2.78	0.05	16	6
		17歳	16.32	14.28	2.04	10.49	5.83	1	7	0.86	1.67	-0.81	2.38	-1.52	46	29
	女	幼稚園	5歳	5.38	5.38	0.00	2.71	2.67	4	3	0.83	-	-	0.35	0.48	7
6歳			8.32	6.91	1.41	4.47	3.85	1	4	0.66	0.76	-0.10	0.63	0.03	17	13
小学校		7歳	8.67	10.54	-1.87	5.53	3.14	4	1	0.51	0.46	-	0.53	-0.02	25	21
		8歳	9.28	9.72	-0.44	6.41	2.87	9	5	1.10	1.34	-0.24	1.19	-0.09	19	8
		9歳	11.27	11.61	-0.34	7.69	3.58	4	1	3.07	1.77	1.30	1.69	1.38	1	21
		10歳	9.64	10.45	-0.81	7.82	1.82	11	9	2.73	3.91	-1.18	2.65	0.08	12	4
		11歳	12.41	9.05	3.36	8.79	3.62	3	22	2.61	3.22	-0.61	2.93	-0.32	22	8
中学校		12歳	11.07	10.93	0.14	8.45	2.62	11	10	2.58	2.64	-0.06	4.18	-1.60	44	46
		13歳	10.64	10.42	0.22	7.37	3.27	6	8	2.64	2.04	0.60	3.32	-0.68	38	42
		14歳	12.15	10.25	1.90	7.22	4.93	1	4	1.90	1.50	0.40	2.78	-0.88	30	44
高等学校		15歳	7.95	12.58	-4.63	8.35	-0.40	28	1	1.88	1.91	-0.03	2.22	-0.34	28	27
		16歳	12.06	9.67	2.39	6.93	5.13	2	11	2.77	1.86	0.91	2.00	0.77	7	22
		17歳	8.83	13.74	-4.91	7.94	0.89	21	1	1.93	1.31	0.62	1.57	0.36	15	30

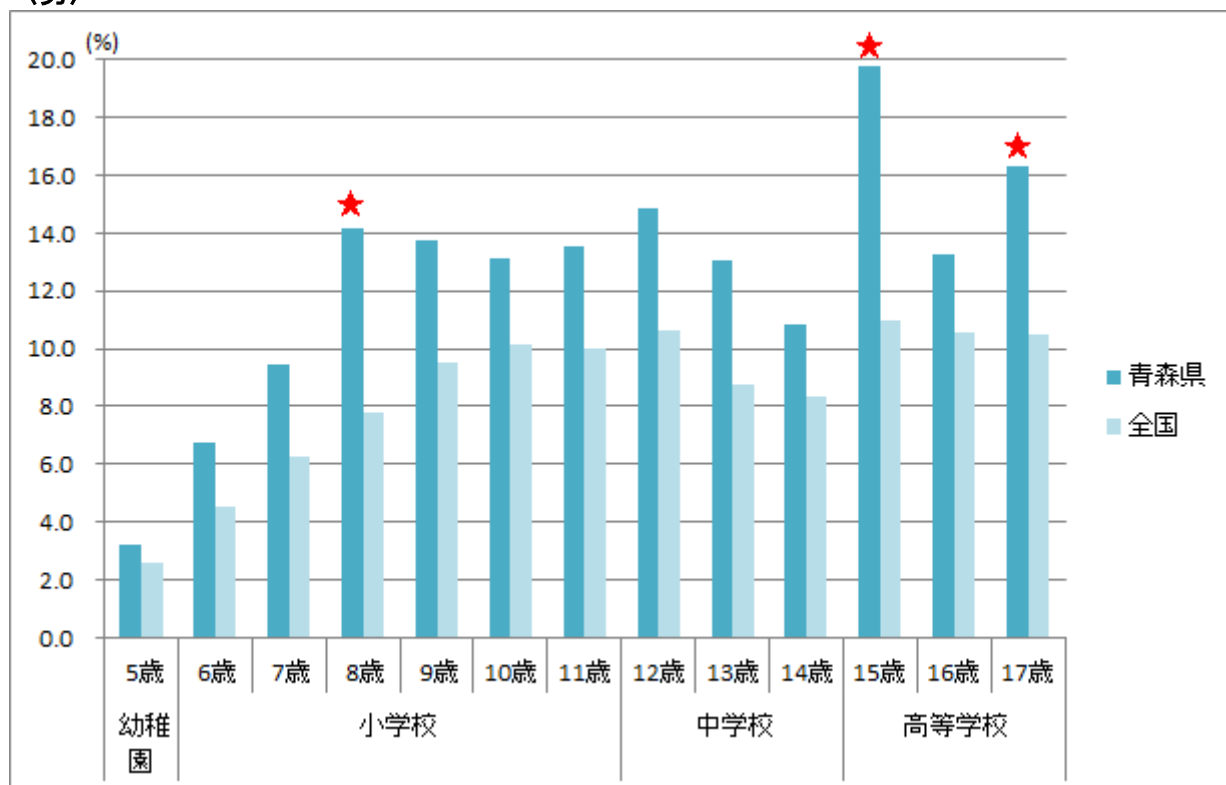
注： 1. 肥満傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者である。

2. 痩身傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以下の者である。

※ 肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100%

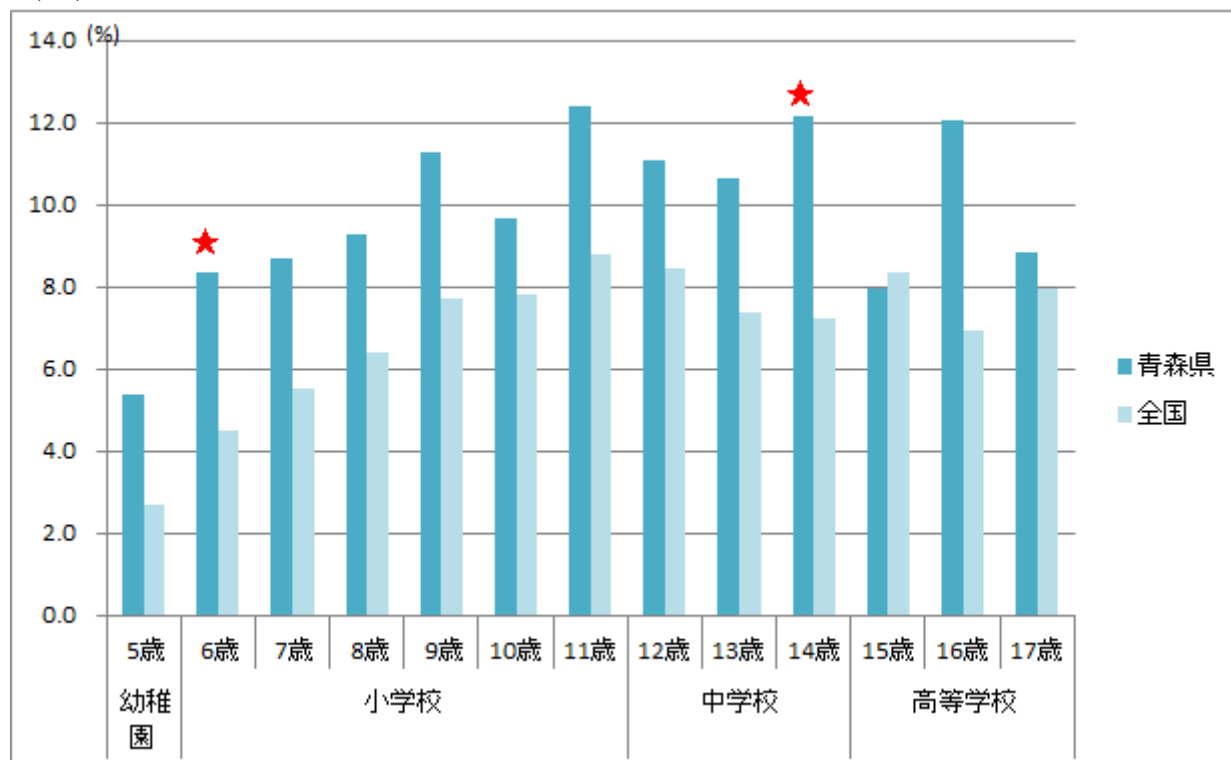
グラフ5 肥満傾向児の出現率

〈男〉



★：全国1位

〈女〉



★：全国1位

## 2 健康状態

### (1) 疾病・異常の被患率等の状況

疾病・異常の被患率をみると、幼稚園と小学校の学校区分において、「むし歯（う歯）」が最も高く、中学校と高等学校の学校区分においては、「裸眼視力1.0未満の者」が最も高い。

表6 疾病・異常の被患率等

区 分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
90%以上					
80%以上～90%未満					
70～80				裸眼視力1.0未満の者	
60～70			裸眼視力1.0未満の者		
50～60		むし歯（う歯）		むし歯（う歯）	
40～50	むし歯（う歯）	裸眼視力1.0未満の者	むし歯（う歯）		
30～40					
20～30	裸眼視力1.0未満の者	鼻・副鼻腔疾患			
10～20		歯・口腔のその他の疾病・異常	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	
1～10	8～10				
	6～8		眼の疾病・異常	眼の疾病・異常	
	4～6	歯列・咬合	耳疾患 歯列・咬合 その他の疾病・異常	歯・口腔のその他の疾病・異常 口の他の疾病・異常 耳疾患 歯垢の状態	歯肉の状態
	2～4	アトピー性皮膚炎 鼻・副鼻腔疾患	栄養状態 歯垢の状態 ぜん息 歯肉の状態 アトピー性皮膚炎	歯肉の状態 歯列・咬合 せき柱・胸部・四肢の状態 蛋白検出の者	口の他の疾病・異常 歯列・咬合 歯垢の状態 蛋白検出の者 耳疾患
	1～2	歯肉の状態 歯・口腔のその他の疾病・異常 口の他の疾病・異常 ぜん息 言語障害	口腔咽喉頭疾患・異常 心電図異常 せき柱・胸部・四肢の状態	心電図異常 栄養状態 ぜん息 アトピー性皮膚炎	心電図異常 歯・口腔のその他の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 ぜん息
0.1～1	0.5～1	眼の疾病・異常 口腔咽喉頭疾患・異常 歯垢の状態 耳疾患 せき柱・胸部・四肢の状態 その他の皮膚疾患	蛋白検出の者 難聴	難聴 心臓の疾病・異常	せき柱・胸部・四肢の状態 顎関節
	0.1～0.5	心臓の疾病・異常 腎臓疾患 蛋白検出の者 栄養状態	その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 言語障害 腎臓疾患 顎関節 尿糖検出の者	口腔咽喉頭疾患・異常 その他の皮膚疾患 顎関節 尿糖検出の者 腎臓疾患 言語障害	栄養状態 その他の皮膚疾患 心臓の疾病・異常 尿糖検出の者 難聴 腎臓疾患 口腔咽喉頭疾患・異常 結核
0.1未満				言語障害	
該当者なし	顎関節	結核	結核		

(注) 1. 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、扁桃肥大、咽頭炎、急性又は慢性的症状の喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常の疾患・異常等である。

2. 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石等のある者である。

3. 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。

4. 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。

5. 「その他の疾病・異常」とは、いずれの調査項目にも該当しない疾病・異常である。

## (2) 主な疾病・異常等の推移

疾病・異常等の主なものの推移は、表7のとおりとなっている。

表7 主な疾病・異常等の推移

(単位：%)

区 分		未裸 満眼 の視 者力 1.0	耳 疾 患	疾鼻 ・ 副 鼻 患腔	疾口 患腔 ・咽 異喉 常頭	へむ うし 歯 歯	皮ア ト 膚ピ ー 炎性	心電 図異 常	の蛋 白 検 者出	ぜ ん 息
幼稚園	青森県 平成20年度	X	3.1	9.5	1.4	64.7	2.1	…	0.6	1.2
	青森県 平成26年度	X	3.7	X	1.4	43.5	1.0	…	1.0	0.8
	青森県 平成27年度	12.7	2.5	2.2	1.8	46.3	2.0	…	-	1.2
	青森県 平成28年度	X	-	1.7	0.4	50.5	1.4	…	-	0.8
	青森県 平成29年度	X	2.1	1.7	0.7	56.8	1.3	…	1.6	2.0
	<b>青森県 平成30年度</b>	<b>26.5</b>	<b>0.6</b>	<b>2.0</b>	<b>0.8</b>	<b>46.2</b>	<b>2.3</b>	<b>…</b>	<b>0.3</b>	<b>1.5</b>
	全 国 平成30年度	26.7	2.3	2.9	1.5	35.1	2.0	…	1.0	1.6
小学校	青森県 平成20年度	43.1	4.8	15.1	1.3	74.3	1.8	1.5	0.3	2.0
	青森県 平成26年度	43.2	5.6	16.3	1.2	64.2	1.1	1.8	0.6	1.7
	青森県 平成27年度	44.5	7.4	18.4	1.1	60.8	1.3	2.5	0.8	1.7
	青森県 平成28年度	45.8	5.7	19.1	1.4	62.4	1.3	2.0	1.1	1.9
	青森県 平成29年度	44.2	4.9	16.3	1.0	60.2	1.7	1.3	1.1	2.1
	<b>青森県 平成30年度</b>	<b>46.2</b>	<b>5.6</b>	<b>20.4</b>	<b>1.6</b>	<b>57.5</b>	<b>2.2</b>	<b>1.5</b>	<b>0.6</b>	<b>2.4</b>
	全 国 平成30年度	34.1	6.5	13.0	1.3	45.3	3.4	2.4	0.8	3.5
中学校	青森県 平成20年度	64.5	3.1	15.6	1.9	68.8	1.5	1.9	1.7	1.8
	青森県 平成26年度	64.1	3.2	20.4	0.4	50.9	0.9	2.9	4.0	1.4
	青森県 平成27年度	65.0	3.3	13.8	0.3	49.7	1.1	2.5	2.1	1.1
	青森県 平成28年度	63.7	3.7	12.5	0.5	49.5	1.3	1.8	2.6	0.9
	青森県 平成29年度	67.8	4.8	17.8	1.0	49.2	1.2	2.1	2.7	1.4
	<b>青森県 平成30年度</b>	<b>64.4</b>	<b>4.4</b>	<b>17.5</b>	<b>0.4</b>	<b>45.7</b>	<b>1.3</b>	<b>1.9</b>	<b>2.4</b>	<b>1.4</b>
	全 国 平成30年度	56.0	4.7	11.0	0.8	35.4	2.9	3.3	2.9	2.7
高等学校	青森県 平成20年度	68.1	2.5	X	0.8	71.0	0.9	1.6	2.4	0.7
	青森県 平成26年度	71.7	2.9	14.3	0.2	59.3	0.8	1.3	2.7	0.8
	青森県 平成27年度	71.1	2.1	5.7	0.5	56.4	1.2	1.1	2.0	1.0
	青森県 平成28年度	67.7	5.1	17.1	0.1	60.8	1.1	2.1	2.2	0.8
	青森県 平成29年度	69.0	3.9	15.7	0.1	59.9	1.0	2.0	2.9	1.0
	<b>青森県 平成30年度</b>	<b>72.4</b>	<b>2.2</b>	<b>10.8</b>	<b>0.1</b>	<b>57.4</b>	<b>1.3</b>	<b>1.9</b>	<b>3.1</b>	<b>1.0</b>
	全 国 平成30年度	67.1	2.5	9.9	0.3	45.4	2.6	3.3	3.0	1.8

注： 1. 小数点以下第2位を四捨五入している。

2. 心電図異常については、6歳、12歳、15歳のみ実施している。

3. 「X」は疾病・異常被患率等の標準誤差が5以上、受検者数が100人（5歳は50人）未満、回答校が1校以下又は疾病・異常被患率が100.0%のため統計数値を公表しない。

ア. 裸眼視力1.0未満の者

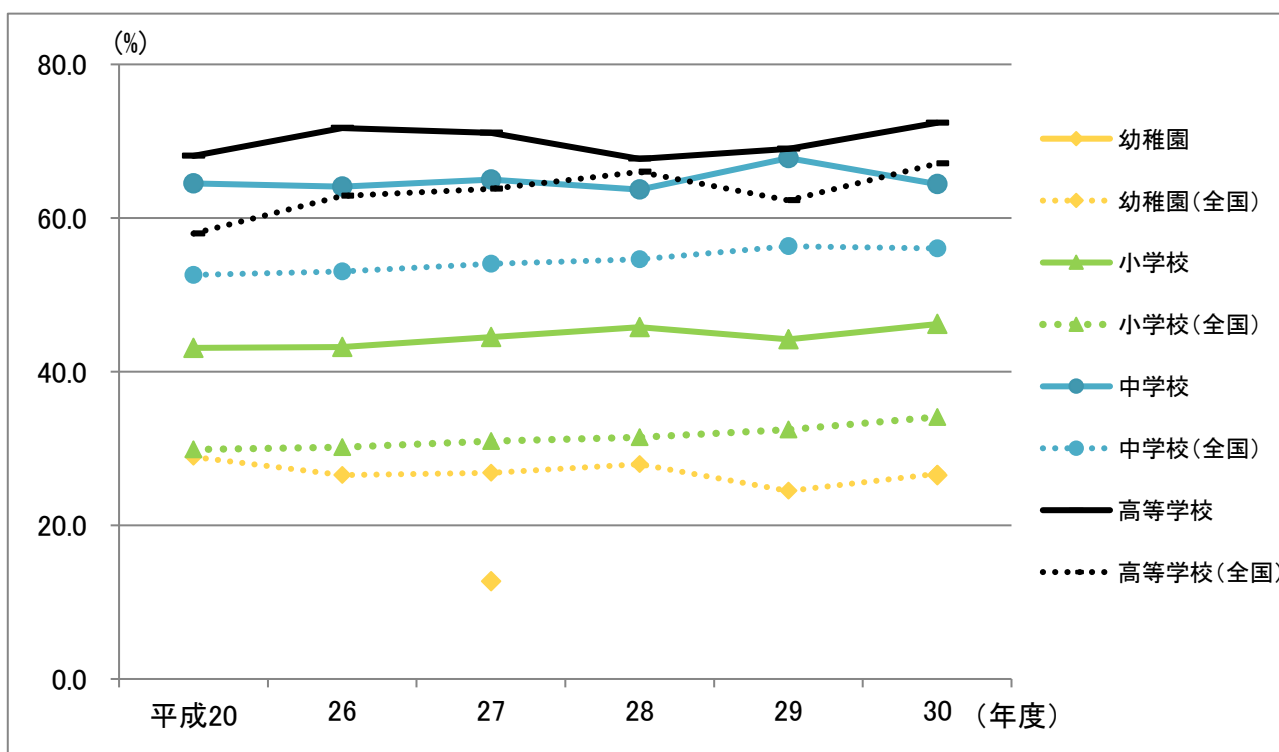
- ① 裸眼視力1.0未満の者は、幼稚園を除いて、全国平均を上回っている。
- ・幼稚園 26.5% (全国平均26.7%)
  - ・小学校 46.2% (全国平均34.1%)
  - ・中学校 64.4% (全国平均56.0%)
  - ・高等学校 72.4% (全国平均67.1%)
- ② 10年前と比較すると、小学校、高等学校において、その割合は増加している。

表8 裸眼視力1.0未満の者の推移

(単位:%)

区分	平成20年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	全国平均 平成30年度
幼稚園	X	X	12.7	X	X	26.5	26.7
小学校	43.1	43.2	44.5	45.8	44.2	46.2	34.1
中学校	64.5	64.1	65.0	63.7	67.8	64.4	56.0
高等学校	68.1	71.7	71.1	67.7	69.0	72.4	67.1

グラフ6 裸眼視力1.0未満の者の推移



イ. むし歯（う歯）

① むし歯（う歯）の被患率（治療済みを含む）は、全学校区分で全国平均を上回っている。

- ・幼稚園 46.2%（全国平均35.1%）
- ・小学校 57.5%（全国平均45.3%）
- ・中学校 45.7%（全国平均35.4%）
- ・高等学校 57.4%（全国平均45.4%）

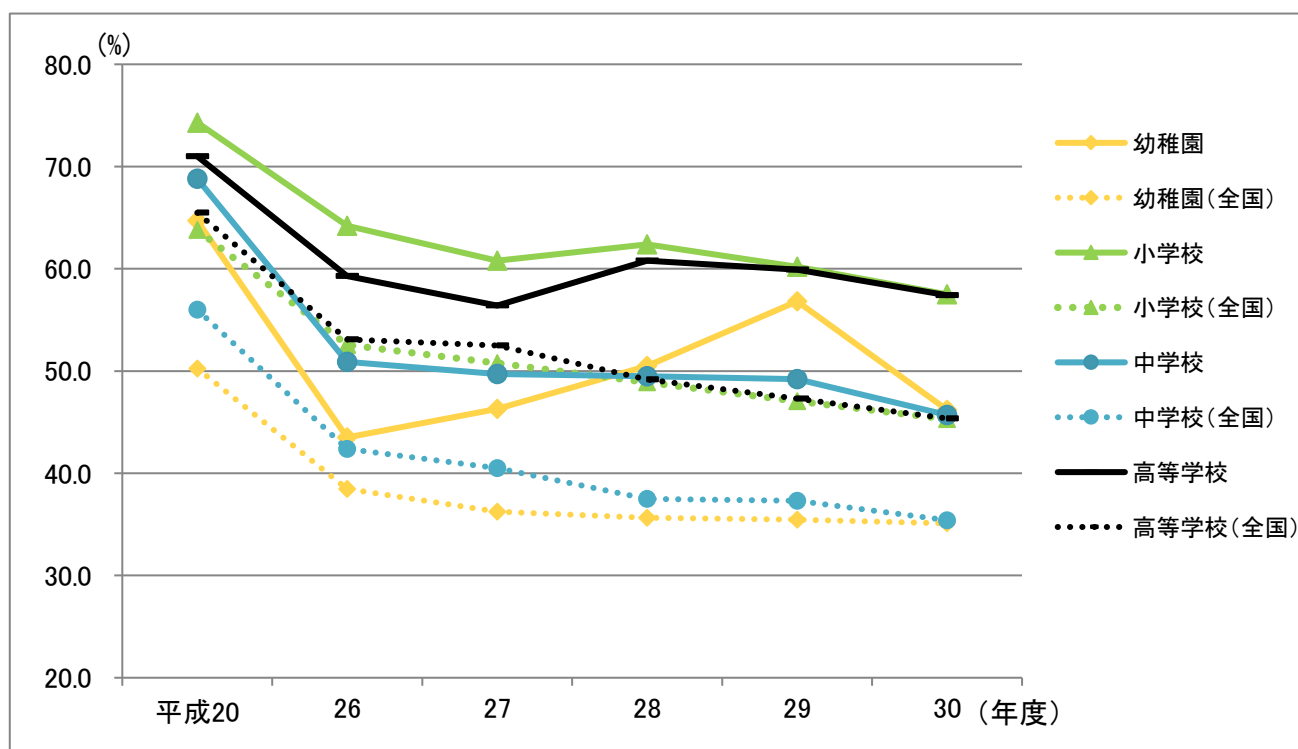
② 10年前と比較すると、全学校区分において、その割合は減少している。

表9 むし歯（う歯）の被患率の推移

(単位:%)

区 分		平成20年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	全国平均 平成30年度
幼稚園	計	64.7	43.5	46.3	50.5	56.8	46.2	35.1
	処置完了者	22.5	10.9	13.7	16.2	17.0	16.8	13.6
	未処置歯のある者	42.2	32.6	32.6	34.3	39.8	29.4	21.5
小学校	計	74.3	64.2	60.8	62.4	60.2	57.5	45.3
	処置完了者	30.8	29.1	27.6	26.3	27.4	25.7	23.1
	未処置歯のある者	43.5	35.1	33.2	36.0	32.8	31.8	22.2
中学校	計	68.8	50.9	49.7	49.5	49.2	45.7	35.4
	処置完了者	35.6	27.3	24.3	26.3	27.1	25.5	20.4
	未処置歯のある者	33.2	23.6	25.3	23.2	22.1	20.2	15.0
高等学校	計	71.0	59.3	56.4	60.8	59.9	57.4	45.4
	処置完了者	34.3	32.6	29.8	34.3	32.2	30.9	27.1
	未処置歯のある者	36.7	26.7	26.6	26.5	27.7	26.5	18.3

グラフ7 むし歯（う歯）の被患率の推移



ウ. ぜん息

① ぜん息の被患率は、全学校区分で全国平均を下回っている。

- ・幼稚園 1.5% (全国平均1.6%)
- ・小学校 2.4% (全国平均3.5%)
- ・中学校 1.4% (全国平均2.7%)
- ・高等学校 1.0% (全国平均1.8%)

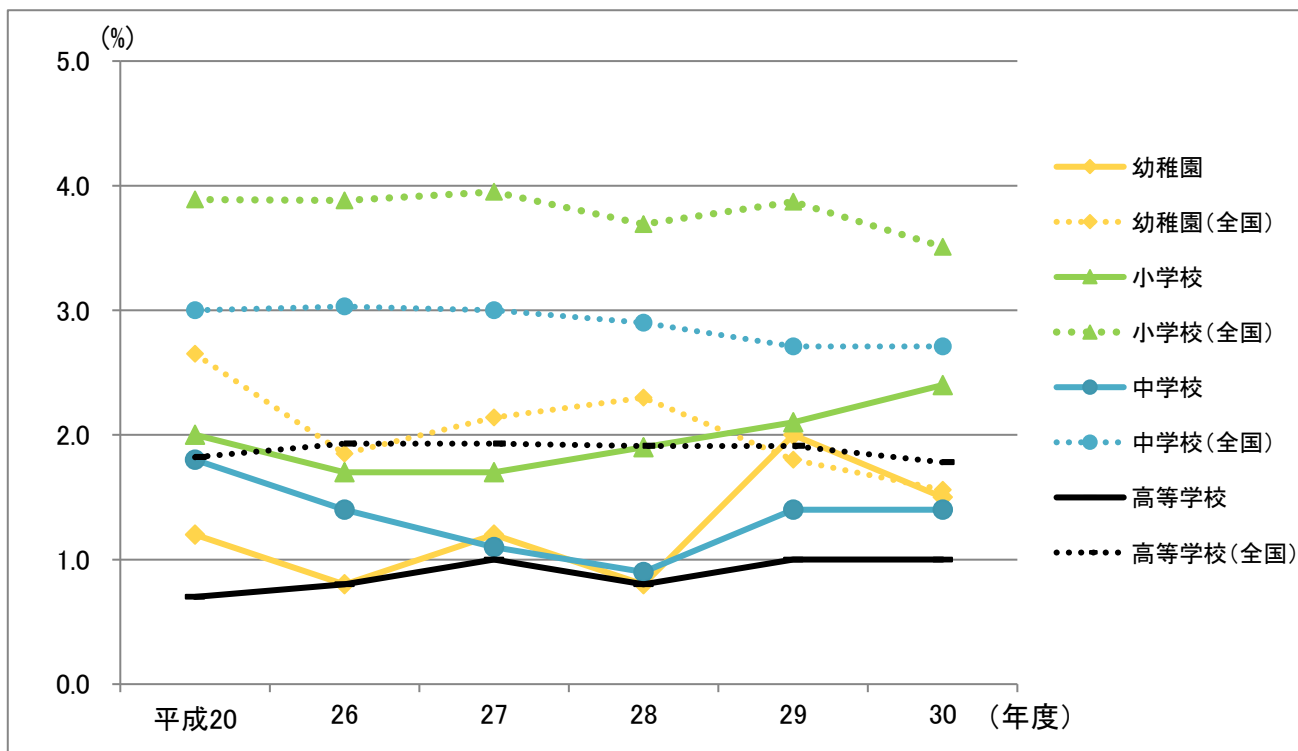
② 10年前と比較すると、中学校を除く各学校区分において、その割合は増加している。

表10 ぜん息の被患率の推移

(単位:%)

区分	平成20年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	全国平均 平成30年度
幼稚園	1.2	0.8	1.2	0.8	2.0	1.5	1.6
小学校	2.0	1.7	1.7	1.9	2.1	2.4	3.5
中学校	1.8	1.4	1.1	0.9	1.4	1.4	2.7
高等学校	0.7	0.8	1.0	0.8	1.0	1.0	1.8

グラフ8 ぜん息の被患率の推移





エ. アトピー性皮膚炎

① アトピー性皮膚炎の被患率は、幼稚園を除いて、全国平均を下回っている。

- ・幼稚園 2.3% (全国平均2.0%)
- ・小学校 2.2% (全国平均3.4%)
- ・中学校 1.3% (全国平均2.9%)
- ・高等学校 1.3% (全国平均2.6%)

② 10年前と比較すると、中学校を除く各学校区分において、その割合は増加している。

表11 アトピー性皮膚炎の被患率の推移

区分	平成20年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	(単位:%)
							全国平均 平成30年度
幼稚園	2.1	1.0	2.0	1.4	1.3	2.3	2.0
小学校	1.8	1.1	1.3	1.3	1.7	2.2	3.4
中学校	1.5	0.9	1.1	1.3	1.2	1.3	2.9
高等学校	0.9	0.8	1.2	1.1	1.0	1.3	2.6

グラフ9 アトピー性皮膚炎の被患率の推移

